



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 MRKホールディングス株式会社

コード番号 9980 URL <https://www.mrkholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩田 徹

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 経営管理本部長兼経営企画部長 (氏名) 中 研悟 TEL 06-7655-5000

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	14,827	7.5	△324	—	△180	—	△249	—
2024年3月期第3四半期	13,797	△3.1	△377	—	△237	—	△222	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 △277百万円 (—%) 2024年3月期第3四半期 △167百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	△2.47	—
2024年3月期第3四半期	△2.20	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	19,609	14,179	72.3
2024年3月期	22,021	14,558	66.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 14,179百万円 2024年3月期 14,558百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2025年3月期	—	0.00	—		
2025年3月期（予想）				1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,200	8.2	880	59.3	1,000	62.0	580	157.5	5.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	101,295,071株	2024年3月期	101,295,071株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	538株	2024年3月期	537株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	101,294,533株	2024年3月期3Q	101,294,554株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(重要な後発事象の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、女性の皆様が輝く人生を過ごしていただけるよう美と健康に関する多彩な商品・サービスを提供する『美の総合総社』の実現に向け、補整下着の販売を中心に、美容コスメや健康関連商品並びに、マタニティ及びベビー関連商品、婚礼・宴会関連事業、美容関連事業など、魅力ある商品・サービスの拡充を推進しております。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、社会経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境が改善するなど、緩やかな回復基調で推移しました。

一方、不安定な国際情勢に伴う原材料価格・エネルギーコストの高騰や円安基調の為替相場などの影響から、先行きは不透明な状況が続いております。

また、小売業界におきましては、継続する物価上昇による節約志向などから、個人消費の持ち直しに足踏みが見られるなど、依然として厳しい経営環境のまま推移しました。

そのような状況のもと、婦人下着及びその関連事業においては、商品展開において、補整下着の「Curvaceous Kales (カーヴィシャス カレス)」の新色「Kales Shiny Gray (カレスシャイニーグレー)」(数量限定)など、新商品の投入により、リピート購入が順調に推移したほか、マタニティ及びベビー関連事業において、プロモーション及び商品戦略が奏功し、利益改善が進みました。

一方、2024年11月にお客様参加型の自社コンテスト「MCSA2024 (マルコ シンデレラ ストーリー アワード 2024)」を開催したほか、中長期的な成長を目指し、婚礼・宴会関連事業及びその他事業における新規出店、当社グループ全体で採用・育成強化による人的資本の拡充を推進するなど、成長に向けた先行投資を実施いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高148億27百万円(前年同期比7.5%増)、営業損失3億24百万円(前年同期は3億77百万円の営業損失)、経常損失1億80百万円(前年同期は2億37百万円の経常損失)、法人税等調整額△1億15百万円を計上し、一方、MRKホールディングス株式会社単体における税務上の繰越欠損金の解消により、法人税等が増加し、親会社株主に帰属する四半期純損失2億49百万円(前年同期は2億22百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの概要は次のとおりであります。

#### [婦人下着及びその関連事業]

婦人下着及びその関連事業においては、補整下着の販売及びコスメや健康食品などの美や健康に関連する商品の販売が主要事業であります。

当第3四半期連結累計期間において、商品展開においては、補整下着の「Curvaceous Kales (カーヴィシャス カレス)」の新色「Kales Shiny Gray (カレスシャイニーグレー)」(数量限定)の販売が好調な売れ行きとなるなど、新商品の投入により、リピート購入が順調に推移し、売上高前年同期比6.8%増と、増収を達成いたしました。

また、販売チャネルのDX化の推進を図る中、EC販売において、定期購入サービスの充実を図ると共に、店舗と連動した利用促進により定期購入が伸長し、施策が奏功したことから、2024年12月単月において、公式サイト及びECモール販売の売上が過去最高の売上を達成するなど、EC売上は前年同期比20.4%増と好調に推移いたしました。

さらに、店舗展開においては、『MARUKO横浜東口店』(横浜市、2024年4月)と、『MARUKOアピタ新潟西店』(新潟市、2024年11月)の2店舗を新規出店したほか、3店舗の移転・改装を行い、お客様にご満足いただける店舗づくりを推進いたしました。

一方、新規顧客及びリピート顧客の獲得に向けて、2024年11月にお客様参加型の自社コンテスト「MCSA2024 (マルコ シンデレラ ストーリー アワード2024)」を開催したほか、中長期的な成長を目指し、従業員満足度の向上及び育成のための給与体系の見直しなど、先行投資を実施いたしました。

以上の結果、売上高は128億43百万円(前年同期比6.8%増)、セグメント損失は1億52百万円(前年同期は2億30百万円のセグメント損失)となりました。

#### [マタニティ及びベビー関連事業]

マタニティ及びベビー関連事業においては、マタニティ及びベビー向けのアパレルや雑貨の販売が主要事業であります。

当第3四半期連結累計期間においては、国内出生数が統計開始以来、過去最少の見込みとなる厳しい状況で推移する中、「助産院監修シリーズ」などターゲット顧客層に効果的にアプローチする商品展開の拡充などにより、売上が順調に推移し、増収となりました。

これにより、2024年9月から4ヶ月連続で単月黒字を達成するなど、収益改善が進みました。

以上の結果、売上高は9億39百万円（前年同期比6.3%増）、セグメント損失は1百万円（前年同期は57百万円のセグメント損失）となりました。

[婚礼・宴会関連事業]

婚礼・宴会関連事業においては、結婚式場の運営やカフェ・レストランなどの、飲食事業の運営が主要事業であります。

当第3四半期連結累計期間においては、『MARRYGRANT AKASAKA』（東京都港区）を中心に、法人宴会需要の取り込みが順調に推移したことにより、増収を達成いたしました。また、『MARRYGRANT AKASAKA』においては、当第3四半期において、四半期ベースで黒字化を達成いたしました。

一方、新施設『GRAND FESTA HAKATA』（福岡市、2024年7月グランドオープン）において、プロモーションの強化を図ると共に、人員拡充などの先行投資を実施し、新たな収益基盤の構築を推進いたしました。

以上の結果、売上高は6億11百万円（前年同期比47.1%増）、セグメント損失は1億53百万円（前年同期は92百万円のセグメント損失）となりました。

[その他]

その他においては、美容関連事業などが主要事業であります。

当第3四半期連結累計期間においては、不採算の業務委託型店舗3店舗の整理（2023年6月に1店舗、2024年5月に2店舗閉鎖）により、売上一時的に減少したものの、既存店においては、スタイリストの育成が進み、黒字化を達成いたしました。

一方、中長期的成長を目指し、新店『FURUSHO栄店』（2024年4月オープン）の立ち上げに向けてプロモーションや採用及び育成強化など、先行投資を実施いたしました。

以上の結果、売上高は4億70百万円（前年同期比6.1%減）、セグメント損失は20百万円（前年同期は0百万円のセグメント損失）となりました。

※上記、各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は136億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億円減少いたしました。これは主に、商品の増加、現金及び預金の減少、短期貸付金の減少、売掛金の減少の結果によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は59億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億88百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金資産の増加、建物及び構築物の増加、無形固定資産の減少の結果によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は43億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億15百万円減少いたしました。これは主に、未払消費税等の増加及び1年内返済予定の長期借入金の減少、買掛金の減少の結果によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は10億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億17百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金の減少の結果によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は141億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億78百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び剰余金の配当による利益剰余金の減少の結果によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月15日の「2024年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,564,827	1,168,073
売掛金	6,151,077	5,724,191
商品	1,553,067	1,778,419
原材料及び貯蔵品	406,399	359,711
短期貸付金	1,000,000	—
関係会社短期貸付金	4,000,000	4,000,000
その他	639,672	699,380
貸倒引当金	△99,160	△114,249
流動資産合計	16,215,885	13,615,526
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,150,149	2,220,482
その他(純額)	1,646,446	1,701,340
有形固定資産合計	3,796,595	3,921,822
無形固定資産	294,810	221,134
投資その他の資産		
その他	1,795,142	1,935,049
貸倒引当金	△81,178	△84,301
投資その他の資産合計	1,713,964	1,850,748
固定資産合計	5,805,370	5,993,704
資産合計	22,021,255	19,609,231
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,519,274	1,082,912
短期借入金	100,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	2,146,019	1,319,245
未払法人税等	124,073	124,951
賞与引当金	50,000	60,600
ポイント引当金	88,000	98,000
株主優待引当金	208,030	123,090
資産除去債務	5,781	9,228
その他	1,329,234	1,487,018
流動負債合計	5,570,413	4,355,047
固定負債		
長期借入金	1,353,980	456,873
資産除去債務	482,425	500,211
その他	55,748	117,364
固定負債合計	1,892,155	1,074,449
負債合計	7,462,568	5,429,496
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,491,360	6,491,360
資本剰余金	6,473,978	6,473,978
利益剰余金	1,232,087	881,006
自己株式	△89	△89
株主資本合計	14,197,337	13,846,256
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	361,349	333,478
その他の包括利益累計額合計	361,349	333,478
純資産合計	14,558,686	14,179,734
負債純資産合計	22,021,255	19,609,231

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	13,797,288	14,827,905
売上原価	3,392,699	3,762,260
売上総利益	10,404,589	11,065,645
販売費及び一般管理費	10,782,469	11,390,011
営業損失(△)	△377,880	△324,365
営業外収益		
受取利息	88,524	273,932
受取手数料	29,028	20,711
その他	29,132	18,026
営業外収益合計	146,685	312,670
営業外費用		
支払利息	433	150,989
その他	6,072	18,252
営業外費用合計	6,506	169,242
経常損失(△)	△237,700	△180,937
特別利益		
新型コロナウイルス感染症による助成金収入	1,403	—
受取保険金	3,688	1,930
その他	69	—
特別利益合計	5,161	1,930
特別損失		
固定資産売却損	—	8,522
減損損失	236	403
災害による損失	2,970	2,130
その他	1,042	3,296
特別損失合計	4,249	14,353
税金等調整前四半期純損失(△)	△236,789	△193,359
法人税、住民税及び事業税	100,356	172,206
法人税等調整額	△114,643	△115,779
法人税等合計	△14,287	56,426
四半期純損失(△)	△222,501	△249,786
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△222,501	△249,786

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純損失(△)	△222,501	△249,786
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	54,853	△27,871
その他の包括利益合計	54,853	△27,871
四半期包括利益	△167,647	△277,657
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△167,647	△277,657
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	婦人下着及び その関連事業	マタニティ 及びベビー 関連事業	婚礼・宴会 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,029,900	876,932	389,538	13,296,370	500,918	13,797,288
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,063	6,232	26,015	33,311	15	33,326
計	12,030,963	883,164	415,553	13,329,681	500,933	13,830,614
セグメント利益 又は損失(△)	△230,785	△57,340	△92,492	△380,617	△470	△381,088

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への売上高	—	13,797,288
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△33,326	—
計	△33,326	13,797,288
セグメント利益 又は損失(△)	3,207	△377,880

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、美容関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額3,207千円には、減価償却の調整額が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	婦人下着及び その関連事業	マタニティ 及びベビー 関連事業	婚礼・宴会 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,842,199	934,159	583,321	14,359,680	468,224	14,827,905
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,770	4,843	27,919	34,532	1,954	36,487
計	12,843,969	939,003	611,240	14,394,213	470,178	14,864,392
セグメント利益 又は損失(△)	△152,562	△1,201	△153,049	△306,813	△20,600	△327,413

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への売上高	—	14,827,905
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△36,487	—
計	△36,487	14,827,905
セグメント利益 又は損失(△)	3,048	△324,365

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、美容関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額3,048千円には、減価償却の調整額が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
減価償却費	287,124千円	318,201千円

(重要な後発事象の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2025年2月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の実行及び株主の皆様への利益還元を目的として自己株式の取得を行うものであります。

2. 取得に係る事項の内容

- (1) 取得対象株式の種類：当社普通株式
- (2) 取得し得る株式の総数：6,000,000株（上限）  
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合5.9%）
- (3) 株式取得価額の総額：500,000,000円（上限）
- (4) 取得期間：2025年2月17日～2026年2月16日
- (5) 取得方法：株式会社東京証券取引所における市場買付